

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム夢見ヶ崎	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人和楽会 ・代表者名 理事長 清水 勤 ・住所 川崎市高津区千年141-2	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 67人)※短期入所3床を本入所に転用 在籍者数 67人(平成23年3月31日現在:入院等不在者を含む)	
	介護度	要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 その他 合計
	利用者数	4 8 13 22 20 0 67
	②通所介護事業(通所定員 40人/日)※人員配置上の定員は30人/日 年間延べ利用者数 5,455人:定員に対する稼働率 53.3%(定員30人とする71.0%)	
		4月 5月 6月 7月 8月 9月
	延べ利用者数	457 408 438 471 455 462
		10月 11月 12月 1月 2月 3月
	延べ利用者数	469 494 423 424 431 523
	③短期入所事業(通所定員 13人)※定員16床のうち3床を本入所に転用 年間延べ利用者数 人:定員に対する稼働率 77.0%	
		4月 5月 6月 7月 8月 9月
延べ利用者数	323 337 327 303 319 266	
	10月 11月 12月 1月 2月 3月	
延べ利用者数	239 257 307 331 308 337	
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成23年3月分)		
介護度	要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 その他 合計	
管理者数	21 18 14 10 4 0 67	
⑤地域包括支援センター事業 相談件数及び訪問件数		
相談者数 訪問者数(左の再掲)		
実相談者数	延べ相談回数 実訪問者数 延べ訪問回数	
578	1,626 531 1,273	
相談内容		
介護保険サービス	福祉サービス 権利擁護 その他相談	
1,157	247 44 339	
プラン作成件数		
介護予防プラン	市単サービスプラン	
総件数 うち委託分	総件数	
374 70	1	
収支実績	①特別養護老人ホーム事業(短期入所含む)	
	(収入)	
	介護料収入	254,493,479
	利用者等利用料収入	50,210,846
	その他の事業収入	0
	合計	304,704,325
	(支出)	
	人件費	201,744,801
	事務費	56,581,444
	事業費	66,544,646
	合計	324,870,891
	(収支差額)	
	-20,166,566	
	②通所介護事業	
	(収入)	
	介護料収入	51,640,186
	利用者等利用料収入	4,326,870
	その他の事業収入	0
	合計	55,967,056
	(支出)	
人件費	38,947,072	
事務費	7,231,083	
事業費	8,144,886	
合計	54,323,041	
(収支差額)		
1,644,015		
③短期入所事業		
(収入)		
介護料収入		
利用者等利用料収入		
その他の事業収入		
合計	0	
(支出)		
人件費		
事務費		
事業費		
合計	0	
(収支差額)		
0		
④居宅介護支援事業		
(収入)		
介護料収入	10,011,076	
利用者等利用料収入	0	
その他の事業収入	0	
合計	10,011,076	
(支出)		
人件費	9,214,600	
事務費	459,531	
事業費	21,088	
合計	9,695,219	
(収支差額)		
315,857		

	①～④合計(⑤地域包括支援センター事業は別途委託のためここでは計上せず)	(収入)	(支出)																	
	<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>316,144,741</td></tr> <tr><td>利用者等利用料収入</td><td>54,537,716</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>370,682,457</td></tr> </table>	介護料収入	316,144,741	利用者等利用料収入	54,537,716	その他の事業収入	0	合計	370,682,457	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>249,906,473</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>64,272,058</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>74,710,620</td></tr> <tr><td>合計</td><td>388,889,151</td></tr> <tr><td>(収支差額)</td><td>-18,206,694</td></tr> </table>	人件費	249,906,473	事務費	64,272,058	事業費	74,710,620	合計	388,889,151	(収支差額)	-18,206,694
介護料収入	316,144,741																			
利用者等利用料収入	54,537,716																			
その他の事業収入	0																			
合計	370,682,457																			
人件費	249,906,473																			
事務費	64,272,058																			
事業費	74,710,620																			
合計	388,889,151																			
(収支差額)	-18,206,694																			
	⑤地域包括支援センター事業	(収入)	(支出)																	
	<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>7,906,470</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>22,513,744</td></tr> <tr><td>経常経費補助金収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>30,420,214</td></tr> </table>	介護料収入	7,906,470	その他の事業収入	22,513,744	経常経費補助金収入	0	合計	30,420,214	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>20,561,385</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>1,234,939</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>526,257</td></tr> <tr><td>合計</td><td>22,322,581</td></tr> <tr><td>(収支差額)</td><td>8,097,633</td></tr> </table>	人件費	20,561,385	事務費	1,234,939	事業費	526,257	合計	22,322,581	(収支差額)	8,097,633
介護料収入	7,906,470																			
その他の事業収入	22,513,744																			
経常経費補助金収入	0																			
合計	30,420,214																			
人件費	20,561,385																			
事務費	1,234,939																			
事業費	526,257																			
合計	22,322,581																			
(収支差額)	8,097,633																			
サービス向上の取組	<p>法人本部と連携を密にし、効果的な人事異動、計画的な雇用計画策定等を行ったほか、介護職員処遇改善交付金申請等により、雇用状況改善に努め、安定した事業運営が行えるようにした。</p> <p>食事提供、排泄、入浴等、内容ごとに目標、実施事項、今後の課題について整理し、サービス向上に取り組んだ。</p> <p>感染症対策委員会を設置し、感染症の予防・啓発活動を強化した。</p> <p>認知症ケアの充実のため、バリデーション手法の検討等を行った。</p> <p>月1回の食事会議による質の高い食事提供の検討、栄養ケアマネジメントによる個別対応、冷凍含浸法の導入等による食形態・自具具の検討、スムーズな食事摂取のため食事前の水分摂取や歌・体操等による口腔内運動等を行った。</p> <p>個別機能訓練の計画実施や、生活活動を繰り返し行う生活リハビリの意図的实施等に取り組んだ。</p>																			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	×2	4	8
		利用者の意向の確認及び情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	×2	5	10
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>冷凍含浸法の導入等により質の高い食事の提供に取り組んでいるほか、生活パターンや排せつレベルに応じたパンツ等の選択など、質の高いサービス提供に取り組んでいることが評価できる。また、小・中学生への福祉教室や、行事・クラブ活動へのボランティア受入等、地域交流を積極的に行っている。</p> <p>健康管理については、健康診断等による日常管理のほか、感染症対策について対策委員会を発足し施設全体で取り組むとともに、消毒ボトル設置等による環境整備、職員や入所者への予防接種、研修や普及啓発、ビニールエプロンの試用等、多角的な取組を行ったことが評価できる。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	×1	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	×1	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	×1	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>支出については、人件費や直接介護支出等で、決算額が予算額を超過する傾向がみられる。</p> <p>収入については、特別養護老人ホーム事業において退所に伴う空床により計画通りの収入が得られなかったほか、通所介護事業及び短期入所事業の稼働率が低かった。特に通所介護事業は、人員配置上30名を定員としているが、本来の定員40名からすると低い稼働率となっているため、</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	×2	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	×2	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	×2	4	8
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>サービスの内容ごとに目標、実施事項、今後の課題について検討するなど、サービス向上に向けた取組が行われているほか、苦情窓口の設置以外にも、満足度調査や家族会の開催等によりニーズを把握し、課題の分析に活用している点が評価できる。</p> <p>また、県の「身体拘束廃止推進モデル施設」として、拘束のない介護に向けて積極的に取り組んでいる点が評価できる。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	×1	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	×2	4	8
		業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	×1	3	3
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	×1	4	4
法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか					
(評価の理由) 職員の資質向上については、特に内部研修の実施に力を入れている。 事故等に関しては独自基準により報告を徹底し、詳細な分析を行っている点は評価できるが、発生件数が比較的高い傾向にある。ささいなものでも報告している結果でもあるが、前年度と比べ増加しているため、分析結果を活かして事故防止に努められたい。 個人情報の管理は、施設独自の規則を作成するほか、委託業者にも誓約書を提出させる等、厳重な管理を行っているものとする。					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	×2	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 施設・設備の保守管理、清掃、警備等については、特に問題なく実施されている。					

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

サービス提供や環境整備等に関し、項目ごとに目標、実施事項、今後の課題について検討するとともに、満足度調査や家族会等でニーズを収集するなど、サービス向上のための取組を行っているほか、バリデーション手法の検討や冷凍含浸法の導入など、新しい試みを導入したり、県の「身体拘束廃止推進モデル施設」として、拘束のない介護に向けて積極的に取り組んでいる姿勢も評価できる。
また、人材確保・処遇改善による事業運営の安定に注意を払っている点も評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

通所介護事業及び短期入所事業の稼働率向上を図ること。
職員の資質向上については、外部研修への参加も推進すること。
更なる事故防止に努めること。